全国職能団体旗揚げ

日本インテリアコーディネーター協会

インテリアコーディネーター有資格者グループを糾合する全国職能団体が発足した。「一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会」（略称=ICON）がそれ。

インテリアコーディネーター資格制度ができて三〇年。この間に誕生したインテリアコーディネーターは約五万人を超えるが、その活動は充分ではなく社会的認知度も低いことと、各地でインテリアコーディネーターの交流・研鑽グループができ現在約五〇団体に上るが、その組織率が低いこと等を自覚。二十二年夏から東京圏の団体代表が協議を進める中で、インテリアコーディネーターの存在価値をアッピールするためには、インテリアコーディネーター自身が自立し組織化することが急務との結論に達し、職能団体としての全国組織「一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会」の発足にこぎつけたもの。

会長には、村上英子氏（元三井デザインテック）が就任した。

目的に「住宅をはじめとするあらゆる空間のインテリアを充実させることにより、日本のインテリア環境を向上させるために、インテリアコーディネーター自身が相互に協力し、自らの資質向上を図るとともに、インテリア環境の向上に貢献するための条件を整備すること」を上げている。

理念として「インテリアコーディネーターの領域及び関連分野における知識と技術を有志、生活文化向上に寄与する真のプロフェッショナル集団として、社会と生活者に利益を提供する」を上げ、組織の構想として「集団の力を発揮し、組織として重要な意思決定を速やかに行うために全体的な視点から統一性と整合性が保てる組織構成とする」とし、本部に「広報」「企画」「研究」「運営」「ビジネスサポート」の各委員会を置き、全国を「北海道圏」「東北関東圏」「東京圏」「中部近畿圏」「中国四国圏」「九州圏」「沖縄圏」の支部を置くとしている。

会員は、一般社団法人の法律上の「社員」となる「一般会員」「ビジネス会員」と、「賛助会員」で構成される。

▽一般会員=インテリア産業協会のインテリアコーディネーター認定資格登録しており、日本インテリアコーディネーター協会の目的に賛同し入会した者。

▽ビジネス会員=一般会員の条件を満たすとともに、フリーランスインテリアコーディネーターとして事業を営む者。

▽賛助会員=日本インテリアコーディネーター協会の事業を賛助するために入会した法人、団体。

事業には

①インテリアコーディネーターの勉強・研修会並びに自己研鑽及びこれらに関連する事業。

②インテリアコーディネーターのビジネス支援及びこれらに関連する事業。

③インテリアコーディネーターの告知PR。

④インテリアコーディネート業務に関する研究及び調査活動。

⑤その他、当法人の目的を達成するために必要な事業。

今年度の事業計画には次のことを挙げている。

①インテリアコーディネーターをつなぐ=ニュースレターの発行。HP会員紹介コラムの掲載。ものづくり体験ツアーの開催。インテリアコーディネーターサロン（定期）の開設。会員/賛助会員参加の交流会の開催。

②インテリアコーディネーターをもっと知ってもらう=インテリアコーディネーターのブランディングとPR活動。

③インテリアコーディネーターの仕事をサポートする=トラブル回避と対処策のセミナー開催。

④さらにスキルアップするために=インテリアコーディネーター実践講座の開催。

⑤インテリアのこれからを考える=自主研究/ライフスタイルとインテリアの志向。タイアップ研究/省資源とエネルギー選択の課題。

⑥フリーランスインテリアコーディネーターを支援する=インテリアコーディネート業務の明確化と料金体系の整備。

リフォーム&インテリア展

インテリア産業協会、日経新聞と

日本経済新聞社と公益社団法人インテリア産業協会は、生活者に向けてリフォームとインテリアの最新情報を発信するイベント「リフォーム&インテリア2012」（第1回）を、九月二十一日（金）から二十三日（日）の三日間、東京ビッグサイトで開催する。

この展示会は、〝住まいと暮らしをスマートに〟をテーマに、「快適・健康」「安全」「エコ」がそろった未来志向の住まい方を、展示やセミナーなどを通じて提案していくとしている。

目玉企画は、「CURIOSITY・WORLD~リフォームの好奇心、インテリアのコウキシン~」と題した、インテリアコーディネーターによる、リフォーム後を表現した六つの住空間シーン展示。「好奇心旺盛な方々が満足し、同時に子供たちの好奇心も育む、リフォーム後の住空間やインテリアを提案する大規模なテーマ展示を、本展会場のエントランスに設置し来場者をお迎えします」と。

会場内では、住宅設備や建材、インテリア、リフォーム会社のほか、更に「耐震」や「省エネ」、「エクステリア&ガーデン」、「DIY・ホームセンター・リフォーム」などの各種展示や、会場ステージ、相談コーナーなども用意し、来場者からのリフォームや住まいに関するさまざまな疑問に回答する場とするという。

また、主にマンション管理組合の方々を対象に、マンション大規模改修、共用部のリフォームに関する情報を提供する「第十八回マンション管理フェア・マンション快適ライフ2012」を、本展の特別企画展としてNPO日本住宅管理組合協議会と共催する。

▽名称=リフォーム&インテリア2012（第一回）。

▽会期=九月二十一日（金）~二十三日（日）。午前十時~午後五時。

▽会場=東京ビッグサイト西2ホール。

▽主催=日本経済新聞社/公益社団法人インテリア産業協会。

▽展示内容=リフォーム推進協議会、（一社）日本増改築産業協会（順不同）水回り製品、内装・インテリア、ガス、耐震、省エネ・エコロジー、エクステリア・ガーデン、DIY・ホームセンター・リフォーム、リフォーム会社、マンションリフォーム、リノベーション、リフォーム資金、リフォーム関連団体、リフォーム関連雑誌・Webサイト、ほか。

▽入場料=無料。

▽展示規模=七十六社三五九小間。

▽来場者見込み=三五、〇〇〇人。

▽特別企画展=第十八回マンション管理フェア・マンション快適ライフ2012。

▽共催=NPO日本住宅管理組合協議会

▽来場対象=住まいのリフォームに関心の高い生活者（シニア層やファミリー層など）。

9月~11月全8回で

コーディネーターと学ぶ インテリアスタイル講座

インテリア産業協会関東甲信越支部とインテリアコーディネーター東京は、インテリアコーディネーターと生活者が一つのテーブルでインテリアを学ぶワークショップ形式講座「現代スタイルのインテリア」を、九月十八日に開催する基調セミナーを皮切りに全八回開催する。定員を十五名とし参加者を募集している。会費無料。

これは、生活者に支持され人気のあるインテリアスタイルについて、それぞれのスタイルを実現するためのプロセスを学ぼうというもの。セミナーとショップ&ショールームめぐり等も計画されている。

▽期間=九月十八日~全八回（うちショップ&ショールームめぐり三回）。

▽会場=東京ウィメンズプラザ、日比谷図書文化館、都内ショップ&ショールーム等。

▽スケジュール=九月十八日・基調セミナー・概要プレゼンテーション・顔合わせ。九月二十五日、十月二日・スタイル別ワークショップ。十月3回にわたりインテリアコーディネーターとショップ&ショールームめぐり。十月二十三日、十一月六日にコラージュ作成・発表会。

基調セミナー概要

▽日時=九月十八日午後二時~四時（受付開始午後一時三〇分）。

▽会場=東京ウィメンズプラザ（渋谷区神宮前五-五三-六七）B1視聴覚室A。

▽テーマ=「現代スタイルのインテリア~インテリアNOW」。

▽講師=奥村公子氏（インテリアコーディネーター東京副会長）。

▽受講料=無料。

▽申込締切=九月十一日（火）。

▽申込方法=インテリアコーディネーター東京事務局（info@ic-tokyo.jp）へメールで。

「見て、ミテ!!私の○○なお部屋」

インテリア自慢募集

NIF「部屋mite投稿大賞」

一般社団法人日本インテリアファブリックス協会、同協会ホームページ「部屋mite.com」に、自分のお気に入りのお部屋・シーンの写真を投稿を受付け、投稿された写真の中から優秀作品に賞品をプレゼントする「部屋mite投稿大賞」を年二回実施している。第四回は、十月二十日（土）に締切り、十一月十四日（水）に審査結果を発表する。

実施要領は次の通り。

◆タイトル=「見て、ミテ!!私の○○なお部屋」の○○にあなたのお気に入りのわけ、自慢したいところなどを入れてタイトルにする。例=「見て、ミテ!!私の夢のキティー部屋」。

◆コメント（二〇〇文字以内）=お気に入り、こだわり、お勧めの部分やお部屋作りの苦労話などを二〇〇文字以内で記載。

◆写真=一人で何点でも投稿できるが、作品ごとに写真1・タイトル1・コメント1が必須。

◆応募資格=特に制限はないがプロの方の投稿は施主の了解済であることを前提とする。

◆応募方法=「部屋mite.com」よりエントリーの上、投稿のこと。http://heyamite.com/。

◆応募締切=二〇一二年一〇月二〇日（土）。

◆審査=日本インテリアファブリックス協会需要開拓委員会で審査を行う。

◆審査基準=自分ならではの空間へのこだわり、エコや快適性の工夫やデザイン性など、部屋やシーンへの想いや愛情が感じられることを審査基準とする。

◆賞・賞品

「部屋mite投稿大賞」=1点・五万円分商品券。優秀賞=三点・二万円分の商品券。入選=一〇点・二、〇〇〇円分の図書券。先着50名にカーテン生地を使い、宮城県の縫製工場で製作したバックをプレゼント。

◆審査結果発表=二〇一二年十一月十四日（水）。同協会ホームページ上、業界紙上。入賞者には直接連絡。受賞作品（第三回、第四回）はJAPANTEX2012会場でパネル展示する。